

2018年10月21日 主日礼拝

司 会 ①清水兄 ②小林猪兄 ③野田兄

奏 楽

祈 禱 ①川村師 ②倉知兄 ③右澤兄

賛 美 聖歌498番「うたいつつ歩まん」
(主はすばらしい)(心静かに主のみ言葉を)

主の祈り

聖 書 ①②エペソ人への手紙3章7～13節 (P303)
③ テモテへの第一の手紙1章12～16節 (P327)

音 楽 ① 北島美佐子姉(伴奏:白鳥直美姉)
②③ティアラ

証 詞 ①②田辺洸兄(学生会)

メッセージ ①②「私の人生の目的は…」シリーズ3 倉知契副牧師
③ 「幸福の方程式」 大川従道牧師

賛 美 「いつも喜び・たえず祈り」(井澤師作曲) (献金)

頌 栄 「驚くばかりの・ハレルヤ」 アーメン

祝 禱

「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」
(一テサロニケ五の十六、十八a)

【大和ニュース】

☆本日「秋のフリーマーケット」を行います。第3礼拝後、Tガーデンにて、楽しんで下さい。

・ 本日入門講座Ⅲ(坪井師)、手話研究、J. Plus、責任役員会(13:30)。

* 本日の「東京カルバリー」は午後5時(10分前から賛美開始)。

特別講師は亀有教会の鈴木靖尋先生と大川牧師。独唱は衛藤姉。

・ 今週も祈禱会を大切に！①水曜夜は小林伝道師 ②木曜朝は原田補教師

③金曜夜は大野M伝道師

・ 「CBSプラス」の勉強会は、土曜日(青年・学生対象)

* 一家に一冊「聖書入門講座」。好評発売中。一冊 1,000 円、ヒズブランドにて。

石の枕

曾野綾子著『三秒の感謝』より

私は、50才になった時から、毎晩一言だけ「今日までありがとうございました」と言って眠ることにしている。これはたったの三秒の感謝だが、これでその夜中に死んでも、一応のけじめだけはつけておいたことになる。

——別の話題。私は昔、有名なラビ・トケイヤー師の講義を聞きに行ったことがある。講義が終わって質問の時間になると、一人の日本人の学生が、「どうしてユダヤ人たちは、ノーベル賞をあんなにたくさん取るほど頭がいいのに、一般の律法だけでも613もの禁止事項があるのですか？」。するとスゴイ答えが返ってきた。

「我々は常に、予測もつかない未来の手前にいる。今私たちは現代の文明をすべて理解したつもりであるが、一般の人々は200年前には、飛行機も、テレビも、原子力も考えることさえできなかった。だから、私たちは、常に自分たちがわからないことに、謙遜でなければならぬ。だからわからないことがあっても、神がそう言われたことは、一応守っておくのだ」という答えだった。

この時のラビ・トケイヤーの話の中には、非常に印象深いことがあった。

「ユダヤ教には613のしてはいけないことがあるが、ユダヤ人は徹底して子供に『ノー』の教育をする。つまりしてはならないことを教え続けるのだ。しかし何をするかは教えない。すると子供が何をしたらいいか、自分で考えるようになる。——私大川の考え方は必ずしもそうではないが、上記の論はすばらしく圧倒される。「ノー」だけでなく、すべきこと守るべきことも積極的に教えている。まさに、『モーセの十戒』がそれである。「安息日を守れ」「父と母を敬え」「殺すな」「盗むな」……ラビから学び直したい気持になった。

ここ数週間で学んだことは、命令形が多かった。「いつも喜んでいなさい」(Rejoice in the Lord always.) 「いつも感謝しなさい」「たえず祈りなさい」。

なにか人生が変わりそう。曾野さんの三秒は短いけど、継続は力になりますね。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!

Aコース: I テモテ1章~II テモテ1章 Bコース: Eレミヤ5章~22章